

皆さん こんにちは。文化財課の児玉です。

暖かい日が続くようになり、満開を迎えた桜が増えてきましたが、気温が上がるにつれて野生動物たちの活動も活発になります。春から夏にかけて、国の特別天然記念物「ニホンカモシカ」の目撃情報が多く寄せられますが、その度に文化財課では、カモシカの保護と市民の皆様の安全確保のため、職員総出で出動し対応します。

テレビニュースなどでカモシカを取り逃がすシーンは滑稽に見えますが、実際、対応している職員は必死です。とくに市街地に出没すると、本来はおとなしいカモシカが興奮して、人に向かってきたり、物を壊したり、交通事故等の原因にもつながります。

一昨年4月に、堤川にかかる橋の下でカモシカが発見されました。当課職員が近づくと、なんと川に飛び込んで泳ぎながら逃走。しばらくすると、報道関係者や見物客が大勢集まり、大変な状況となりました。陸に逃げられたら街中パニックになるし、海に流されたら救助は困難となります。選択肢は、川の中で捕まえるしか方法はありません。そこで、カモシカを泳げるだけ泳がせて、疲れたところで川岸に追い込み捕獲するという作戦を立て、私が川に飛び込んで（一部の情報番組では落ちた。と笑い者にされる）カモシカを後方から追いかけて、もう一人の職員が前方で待ち構えて、なんとか捕獲に成功し、無事に山に帰すことができました。

また、昨年6月には大釈迦駅近くの線路付近で座っているカモシカの捕獲をJRに依頼されました。駅付近から歩いて200m先のカモシカを捕獲し、そこから250m先の地点まで抵抗するカモシカを4人で抱えながら運びました。電車が通過するまでの16分間の出来事で、本当に命がけの作業でした。



大釈迦駅近くでのカモシカ捕獲の様子
(平成28年)

最近では、カモシカ出没の通報を受けて現地に赴くと、ニホンジカであった。ということもあります。ニホンジカの生息範囲が拡大するとともに、個体数も増えてきているのでしょう。ニホンジカは、天然記念物（文化財）ではないので、我々の管轄外なのですが、そこで帰るわけにも行かず、（角が長く、体も大きいので）カモシカ以上に気合いを入れて捕獲あるいは山に追い込みます。

ニホンジカの生息範囲が広がっているということは、これまでカモシカが生息していた地域の食物資源量が減少し、カモシカの生活にも影響を及ぼす可能性があります。

カモシカは、ウシ科に属するおとなしい動物なので、こちらから刺激を与えない限りは、危害を加えることはありません。

特別天然記念物「ニホンカモシカ」の保護に対し、御理解・御協力をお願いいたします。